

建設業で本当にあった心温まる物語

降旗達生（ハタコンサルタント代表取締役）選



社の職長Aさんが私に「何

私は、今、着工支援室という部署にいますが、入社1年目には、現場にて施工管理の仕事をしていた。その年、私が所属する支店には、女性の現場監督は私1人しかいませんでした。4月の研修を終え、何も分からないまま現場に配属されました。

女性だからと言われるのが嫌いな私は、そう言われないうつ、できる限りのことをやっていた。しかしある日、どうしても1人では到底移動しきれない物をすぐに移動させて欲しいと頼まれてしまいました。断りきれず、また「女性だからダメなんだ」と言われるのがいやで、私はそれを引き受けました。しかし、なかなか動きません。どうやって動かそうか悩んでいると、その様子を見た設備工事会

いつもさりげなく助けてくれる人

を悩んでいるの」と話しかけてくれました。

普段から良くしてもらっている方で、事情を話すと「俺、そこで作業あるから、移動させてあげるよ」と言い手伝ってくれました。物の移動だけでなく、掃除まで一緒に手伝ってくれました。

「ありがとうございました。とても助かりました」とお礼を言つと、Aさんは「自分たちの作業スペースを確保しただけだから」と言い作業に戻っていき、私には再び「ありがとうございました。ありがとうございます」とお礼を言いつつ心の中で「キザだけど、かっこいいな」と思いました。

その後も竣工まで、たびたび顔を合わせることもあり、何かと助けてくれました。多くの方に助けていたがながら、今日も建設の仕事をがんばっています。

日本建設 宮部 佳奈（東京都）